



**カンボジア発 サステナブルブランド「SALASUSU(サラスूसー) 」
女性たちが自分らしい生き方ができる世界の実現に向けてカンボジアで活動を開始して10年
自らの力で職業を選択し羽ばたくカンボジア女性たちを応援**

<カンボジアの学校兼モノ作りの場であるサラスूसー工房から巣立った卒業生が累計200人へ>



ライフジャーニー（人生と旅しよう）をテーマに旅先でも、日常にも寄り添えるバックを中心に作るカンボジア発のサステナブルブランド「SALASUSU(サラスूसー)」(渋谷区広尾 共同代表 横山優里)

<https://salasusu.com/>が、**カンボジアのクチャ村で運営する自社工房（2008年設立）から巣立った卒業生が累計200人となりました。**サラスूसーの工房で働くのは、工房周辺の村々に住む、貧困を理由に教育の機会に恵まれなかった最貧困層出身の女性たちです。

採用する際は、サラスूसーのスタッフが彼女たちの自宅に家庭訪問をして、貧困状況の程度や、家族に働き手がないこと、就学経験を確認して、工房への入学と就業となります。そのため、**工房ではものづくりと合わせて、カンボジア語の読み書きやコミュニケーション、自己管理能力など社会で自立して生きるために必要なライフスキルを身につけるためのトレーニングも実施しています。**

工房での勉強の期間は2年間として、卒業制度を設けており、サラスूसーで学んだことを糧に新天地での就職や、サラスूसーに残り新たに入学する女性達のメンターや、工房のリーダーとしての役割を担いながら物づくりのキャリアを積んだり、工房入学当時はハサミの使い方すら知らなかった彼女たちが、**自らの力で生き方を切り開き、人生を選択できるまでになっていくその過程に積極的に関与しながら、**サラスूसー製品のご購入者にはお買い物を超えた新たな価値体験をいただけるように、今後もカンボジアの女性たちと共に、サラスूसーの活動を続けてまいります。

3月8日の国際女性デーに合わせて、サラスूसー公式サイトでは、共同代表・横山優里による、サラスूसーの工房を卒業した女性達との交流を振り返った記事を展開しております。

SALASUSU JOURNAL URL : <https://salasusu.com/journal/190307/>



横山 優里 Yuri Yokoyama SALASUSU 共同代表

1987年生

早稲田大学卒業後、素材メーカーに勤務しその中で見たものづくりのあり方に疑問を持ち、2013年かものはしプロジェクトに参画しカンボジアでのセールスを担当。2015年新ブランドSUSUの立ち上げを行いブランドマネージャーとして販路開拓を行い、2018年には、サラスूसーへのリブランディングを行う。現在は、拠点をカンボジアから東京に移し、日本国内での販促、広報を行う。



SALASUSU（サラスूसー）とは



SALA（サラ）＝学校、SUSU（スूसー）＝頑張ってね [クメール語]

カンボジアのシェムリアップから35kmほど離れたクチャ村にあるSALASUSUの工房兼学校。2008年に創設、現在11年目を迎えた工房では、経済的に困難な背景をもつ女性たち65名ほどが雇用され働いています。



働くことで安定した収入を得るとともに、女性たちがものづくりを通じて仕事への誇りや自信、コミュニケーション、職業倫理を学ぶ機会となり、学校のような場でもあります。品質の良いものづくりをすることで、社会に価値を提供する「Producer」に成長し、本当の意味での自立ができるよう支援しています。

買い物を通じて作り手も買い手も豊かにする仕組みとは



裁断、縫製、検品。それぞれの工程が完了した後に、各工程を担当した作り手の女性が自分の名前スタンプを製品タグに押します。製品タグを通して、顔が見えない誰かが作った商品ではなく、「誰が作ったのかが分かる、感じる」。バッグを通してモノ以上の新しい価値をご購入者に感じてもらう仕組みです。



商品のご購入者には、カンボジアにあるSALASUSUの工房を見学できるフリーパスチケットをお渡ししています。有効期限はなく、いつでも工房まで遊びに来ていただけます。

お買い物でHappyに、そして作り手を知り、会いに行ってさらなるHappyを提供しています。

ご購入代金の一部が「生きる力」を身につけるトレーニング費用へ

<p>YOU BUY CRAFTS PERSON 2.5 DAY</p>	<p>1-DAY TRIP TOTE = 2.5 DAYS</p> <p>1-Day Trip Tote をご購入いただくと、SALASUSU の Education Program 2.5 日分に相当します。</p>
--	--

ライフスキルトレーニングとして、ものづくりの時間の他に毎日1時間、ゲームやワークショップを通じて、自己管理やコミュニケーション、問題を解決する力など社会で生きるために必要な「ライフスキル」を養っています

特定非営利活動法人SALASUSU（サラスूसー） <https://salasusu.com/>

共同代表 青木健太/横山優里

日本（本部：東京・広尾）、カンボジア/シェムリアップ

エシカルファッションブランドSALASUSUの生産・販売
ライフスキル教育を雇用を通じ提供する学校運営企業・
官公庁へのライフスキル研修の提供



@salasusu



salasusufromcambodia